

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場会社名 幼児活動研究会株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 2152 URL <http://www.youji.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山下 孝一  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)川口 弘之 (TEL)03-3494-0262  
 四半期報告書提出予定日 平成23年10月31日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,419	3.9	159	△52.3	162	△51.9	22	△89.3
23年3月期第2四半期	2,328	12.7	334	51.4	337	47.6	214	235.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 30百万円(△85.2%) 23年3月期第2四半期 208百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	17.07	16.67
23年3月期第2四半期	164.30	159.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,030	2,990	59.4
23年3月期	5,159	2,994	58.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,990百万円 23年3月期 2,994百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	26.00	26.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,919	3.8	465	△26.7	468	△27.1	220	△41.5	163.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規\_\_社(社名)、除外\_\_社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	1,347,000株	23年3月期	1,347,000株
24年3月期2Q	136株	23年3月期	73株
24年3月期2Q	1,346,886株	23年3月期2Q	1,306,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結経営成績に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	6
2.	サマリー情報(その他)に関する事項	6
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3.	継続企業の前提に関する重要事象等の概要	6
4.	四半期連結財務諸表	7
	(1) 四半期連結貸借対照表	7
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
	四半期連結損益計算書	9
	四半期連結包括利益計算書	10
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
	(4) 継続企業の前提に関する注記	12
	(5) セグメント情報等	12
	(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
	(7) 重要な後発事象	12
5.	補足情報	13
	(1) 設備投資計画	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社の業績は、売上高2,419百万円（前年同四半期比3.9%増）、経常利益162百万円（前年同四半期比51.9%減）、四半期純利益22百万円（前年同四半期比89.3%減）となりました。

また当第2四半期連結会計期間末における従業員数は、幼児体育指導関連事業で416人、コンサルティング関連事業で7人、全社共通で20人、グループ全体で443人（前年同四半期比11.0%増）となっております。平成22年9月末における従業員数は、グループ全体で399人でした。

経常利益の前年同四半期比がマイナスとなっている主な要因は、新規採用等の増加により売上原価における人件費が前年同期における人件費と比較して98百万円増加したこと、愛知県名古屋市の社会福祉法人大和学園福祉会を設立するために、128百万円の寄付金を計上したためです。

四半期純利益の前年同四半期比がマイナスとなっている主な要因は、経常利益の減少に加えて、投資有価証券として保有している債券の評価損23百万円を特別損失として計上したこととあります。

また当第2四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益は、17円07銭、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、16円67銭となりました。前第2四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益は、164円30銭、前連結会計年度における1株当たり当期純利益は、287円79銭です。

年率換算した自己資本利益率は、1.5%となっております。前連結会計年度における自己資本利益率は、13.4%でした。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 幼児体育指導関連事業

正課体育指導の実施会場数は前第2四半期末（平成22年9月末）の823園から、当第2四半期末（平成23年9月末）は862園へと増加致しました。このうち、YYプロジェクトに基づく正課体育指導の会場数は、前第2四半期末の171園から当第2四半期末は190園へと増加致しました。

また当第2四半期末における課外体育指導の実施会場数及び会員数は、821カ所46,330名となりました。前第2四半期末における課外体育指導の実施会場数及び会員数は、787カ所43,359名です。課外体育指導の会員数は、前年同四半期比で6.9%増となっております。

これらの結果、幼児体育指導関連業務に係る売上高は、2,238百万円（前年同四半期比4.2%増）、セグメント利益は142百万円（前年同四半期比51.9%減）となりました。

#### ② コンサルティング関連事業

コンサルティング契約件数は、前第2四半期末の248件から、当第2四半期末は269件へと増加致しました。このうちYYプロジェクトに基づいたトータルサポート契約件数は、前第2四半期末の197件から、当第2四半期末は217件へと増加致しました。

これらの結果、コンサルティング関連業務に係る売上高は、181百万円（前年同四半期比0.2%増）、セグメント利益は14百万円（前年同四半期比59.1%減）となりました。

(参考) YYプロジェクト導入園数、体育指導実施会場数及び会員数の動向

1. 幼児体育指導関連事業

	22年3月期	23年3月期	23年3月期	24年3月期	増減率(%)	
	(22年3月末日)	第2四半期 (22年9月末日)	(23年3月末日)	第2四半期 (23年9月末日)	(注)2	(注)3
正課体育指導						
実施会場数	784	823	829	862	4.7	4.0
(うち、YYプロジェクト)	(142)	(171)	(175)	(190)	11.1	8.6
幼稚園	556	567	568	580	2.3	2.1
保育園	199	230	233	257	11.7	10.3
その他 (注)1	29	26	28	25	△3.8	△10.7
課外体育指導						
実施会場数	760	787	793	821	4.3	3.5
幼稚園	617	626	627	635	1.4	1.3
保育園	116	131	134	152	16.0	13.4
その他 (注)1	27	30	32	34	13.3	6.3
会員数	40,824	43,359	44,490	46,330	6.9	4.1
YY塾						
実施会場数	1	3	3	3	0.0	0.0
会員数	27	95	104	144	51.6	38.5

(注) 1. その他は、幼稚園、保育園以外の学校及び専門学校等を含みます。

2. 平成24年3月期第2四半期(23年9月末日)の平成23年3月期第2四半期(22年9月末日)に対する増減率です。

3. 平成24年3月期第2四半期(23年9月末日)の平成23年3月期(23年3月末日)に対する増減率です。

2. コンサルティング関連事業

	22年3月期	23年3月期	23年3月期	24年3月期	増減率(%)	
	(22年3月末日)	第2四半期 (22年9月末日)	(23年3月末日)	第2四半期 (23年9月末日)	(注)3	(注)4
コンサルティング契約件数	212	248	253	269	8.5	6.3
(うち、YYプロジェクト)	(161)	(197)	(201)	(217)	10.2	8.0
(内訳1)						
幼稚園	102	118	119	130	10.2	9.2
保育園	103	121	124	129	6.6	4.0
その他	7	9	10	10	11.1	0.0
(内訳2)						
トータルサポート COSMO21 (注)1	193	227	232	248	9.3	6.9
サポート日経 (注)2	19	21	21	21	0.0	0.0

(注) 1. トータルサポートCOSMO21は、幼稚園・保育園と個々に年間契約(年間12回訪問)を交わし、保育面、経営面等を総合的に支援する事業です。

2. サポート日経は、幼稚園・保育園と個々に年間契約(年間6回訪問)を交わし、保育面、経営面等に対して助言・指導する事業です。

3. 平成24年3月期第2四半期(23年9月末日)の平成23年3月期第2四半期(22年9月末日)に対する増減率です。

4. 平成24年3月期第2四半期(23年9月末日)の平成23年3月期(23年3月末日)に対する増減率です。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は5,030百万円となっており、前連結会計年度末に対して128百万円の減少となりました。資産の減少理由は、前連結会計年度末と比較して、有価証券が50百万円増加したものの、現金及び預金が192百万円減少したことに因ります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は2,040百万円となっており、前連結会計年度末に対して124百万円の減少となりました。負債の減少理由は、前連結会計年度末と比較して、前受金43百万円の増加及び退職給付引当金が39百万円増加しましたが、法人税等の支払いにより未払法人税等が85百万円減少したこと、未払金が46百万円減少したこと、長期借入金が36百万円減少したことに因ります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,990百万円となっており、前連結会計年度末に対して4百万円の減少となりました。純資産の変動理由は、利益剰余金12百万円の減少及びその他有価証券評価差額金7百万円の増加に因るものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前第2四半期連結累計期間末より781百万円増加し、3,251百万円（前年同四半期比31.6%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果生じたキャッシュ・フローは、△52百万円となりました（前年同四半期は222百万円の収入）。営業活動に係るキャッシュ・フローが△52百万円となった要因は、税金等調整前四半期純利益139百万円等による増加と、法人税等の支払額214百万円等の減少に因るものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果生じたキャッシュ・フローは、△18百万円となりました（前年同四半期は39百万円の収入）。投資活動に係るキャッシュ・フローが△18百万円となった要因は、パソコン等ネットワーク機器関連投資14百万円、組立式プール等固定資産購入4百万円、支部の改装費用2百万円、顧客管理システム等への投資9百万円、生命保険の新規契約4百万円等による支出と、生命保険解約に伴う16百万円の現金増加に因るものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果生じたキャッシュ・フローは、△71百万円となりました（前年同四半期は33百万円の支出）。これは、長期借入金36百万円を返済したこと、配当金として34百万円を支払ったことに因ります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想は、下記に示すとおりです。

平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期	4,919	465	468	220	163 71
(参考)前期実績 (平成23年3月期)	4,740	635	643	377	287 79

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。



4. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,353,034	3,160,606
売掛金	137,815	153,953
有価証券	140,797	190,846
商品	8,568	7,883
貯蔵品	5,200	3,093
繰延税金資産	97,109	96,047
その他	33,428	38,223
貸倒引当金	△1,293	△1,334
流動資産合計	3,774,660	3,649,320
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	123,256	125,165
工具、器具及び備品(純額)	44,754	51,604
土地	258,144	275,104
有形固定資産合計	426,155	451,873
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	110,708	99,116
保険積立金	290,532	278,795
繰延税金資産	304,327	321,565
投資不動産(純額)	147,378	126,012
その他	51,633	50,025
投資その他の資産合計	904,581	875,515
固定資産合計	1,384,698	1,381,513
資産合計	5,159,359	5,030,834
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	80,059	72,216
未払金	91,715	44,771
未払費用	29,259	37,781
1年内返済予定の長期借入金	72,000	72,000
未払法人税等	230,894	145,709
前受金	213,792	257,141
賞与引当金	174,500	181,800
その他	114,992	65,636
流動負債合計	1,007,213	877,057
固定負債		
長期借入金	210,000	174,000
退職給付引当金	721,608	761,197
役員退職慰労引当金	226,072	228,427
その他	126	126
固定負債合計	1,157,806	1,163,751
負債合計	2,165,020	2,040,808

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	431,260	431,260
資本剰余金	283,177	283,177
利益剰余金	2,293,244	2,281,214
自己株式	△130	△241
株主資本合計	3,007,550	2,995,410
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13,211	△5,384
その他の包括利益累計額合計	△13,211	△5,384
純資産合計	2,994,339	2,990,025
負債純資産合計	5,159,359	5,030,834

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,328,957	2,419,503
売上原価	1,564,047	1,691,915
売上総利益	764,909	727,587
販売費及び一般管理費	430,806	568,288
営業利益	334,103	159,298
営業外収益		
受取利息	593	213
受取配当金	—	721
受取賃貸料	1,743	271
保険解約返戻金	—	636
受取手数料	1,422	1,966
その他	254	285
営業外収益合計	4,014	4,095
営業外費用		
支払利息	—	821
不動産賃貸原価	233	247
その他	304	9
営業外費用合計	538	1,077
経常利益	337,579	162,316
特別利益		
投資有価証券売却益	86	—
保険解約返戻金	63,704	—
特別利益合計	63,791	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	23,140
投資有価証券売却損	—	84
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,545	—
特別損失合計	2,545	23,224
税金等調整前四半期純利益	398,825	139,091
法人税、住民税及び事業税	195,171	137,605
法人税等調整額	△10,923	△21,504
法人税等合計	184,248	116,100
少数株主損益調整前四半期純利益	214,577	22,991
四半期純利益	214,577	22,991

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	214,577	22,991
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,030	7,826
その他の包括利益合計	△6,030	7,826
四半期包括利益	208,546	30,817
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	208,546	30,817
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	398,825	139,091
減価償却費	17,827	21,372
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	32,140	39,589
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,261	2,355
賞与引当金の増減額 (△は減少)	24,700	7,300
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	42	40
受取利息及び受取配当金	△593	△934
支払利息	—	821
投資有価証券売却損益 (△は益)	△86	84
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	23,140
保険解約返戻損益 (△は益)	△63,704	△636
売上債権の増減額 (△は増加)	△15,741	△16,138
商品の増減額 (△は増加)	2,089	685
貯蔵品の増減額 (△は増加)	△3,335	2,107
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	5,671	△4,882
仕入債務の増減額 (△は減少)	△58,017	△7,843
前受金の増減額 (△は減少)	41,782	43,349
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△5,221	△88,507
その他	—	1,015
小計	378,639	162,010
利息及び配当金の受取額	573	968
利息の支払額	—	△767
法人税等の支払額	△156,442	△214,964
営業活動によるキャッシュ・フロー	222,770	△52,753
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△23,125	—
有形固定資産の取得による支出	△43,140	△21,418
無形固定資産の取得による支出	△12,282	△11,055
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,386	1,520
保険積立金の払戻による収入	120,219	16,669
その他	△4,850	△4,295
投資活動によるキャッシュ・フロー	39,206	△18,578
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	—	△36,000
自己株式の取得による支出	—	△110
配当金の支払額	△33,615	△34,935
財務活動によるキャッシュ・フロー	△33,615	△71,046
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	228,361	△142,378
現金及び現金同等物の期首残高	2,241,616	3,393,832
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,469,978	3,251,453

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	幼児体育指導 関連事業	コンサルティング 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,148,322	180,635	2,328,957	—	2,328,957
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,534	29,951	38,486	(38,486)	—
計	2,156,857	210,586	2,367,443	(38,486)	2,328,957
セグメント利益	295,507	36,196	331,704	2,399	334,103

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去2,399千円が含まれております。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	幼児体育指導 関連事業	コンサルティング 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,238,480	181,023	2,419,503	—	2,419,503
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,265	28,643	37,908	(37,908)	—
計	2,247,745	209,666	2,457,411	(37,908)	2,419,503
セグメント利益	142,117	14,787	156,904	2,394	159,298

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去2,394千円が含まれております。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 設備投資計画

当第2四半期連結累計期間において、新たに確定した重要な設備の新設に係る計画は、以下のとおりであります。

会社名	事業所名 (所在地)	事業の種類別 セグメントの 名称	設備の内容	投資予定額		着手年月	完了予定
				総額 (千円)	既支払額 (千円)		
提出会社	本社(東京都品川区)	全社共通	会計システム	2,900	—	2011年8月	2011年10月
提出会社	本社(東京都品川区)	全社共通	ブレードサーバ	26,623	—	2011年9月	2012年2月
提出会社	本社(東京都品川区)	全社共通	情報ネットワーク 基盤	14,573	—	2011年10月	2012年4月
提出会社	本社(東京都品川区)	全社共通	データセンター 移設	11,366	—	2011年9月	2012年2月

- (注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2 投資予定金額については、自己資金を充当する予定です。